

# 留 学 報 告 書

記入日:2013年09月11日



所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部 国際日本学科
留学先国	イギリス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	マンチェスター大学 THE UNIVERSITY OF MANCHESTER
留学期間	2012年09月～2013年06月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1-3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	人文科学部
帰国年月日	2013年06月30日
明治大学卒業予定年	2014年03月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月下旬～12月中旬 2学期:1月下旬～6月上旬
学生数	39,000人
創立年	2004年(再統合)

留学費用項目	現地通貨(ポンド)	円	備考
授業料	£0	0円	協定校留学だから
宿舍費	£4,883	770,456円	Weston Hall
食費	£3,000	473,350円	
図書費	£200	31,557円	
学用品費	£100	15,778円	
教養娯楽費	£300	47,335円	映画など
被服費	£300	47,335円	
医療費	£0	0円	診察を受けるのは無料
保険費	£0	0円	国民健康保険のような物はなし
渡航旅費	£1,100	173,562円	
雑費	£117	18,461円	
その他		円	
<b>合計</b>	<b>£10,000</b>	<b>1,577,834円</b>	

## 渡航関連

渡航経路:マンチェスターと北京の間の往復

渡航費用

チケットの種類 エコノミークラス

往路 \_\_\_\_\_

復路 \_\_\_\_\_

合計 1,100ポンド

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

カタール航空会社

## 滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 )

3)住居を探した方法:

大学のホームページで探した

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

en-suite という部屋タイプ(個室の中にお手洗いとシャワーがある)を選んだ。このタイプの部屋は他のタイプと比べると、ちょっと高い。すべての部屋が古い。

## 現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった利用した:総合病院。診察を受けるのは無料。だから待つ時間は長い(4時間ぐらい)。登録した診療所に診察を受けに行く場合は、予約が必要。

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

問題がある時、問題と時間によって、相談相手がそれぞれ。相談窓口なし。普通は問題があったら、担当部門に E メールで交渉する。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

強奪事件があったと聞いたけど、実際に盗難等の犯罪に巻き込まれた事が無かった。できるだけ歩いている時 携帯を使わない方がいい。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットと図書館の wifi を使った。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

学校から口座を開く専用の証明書もらった。そして現地に銀行口座を開設し、親から送金してもらった。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

持って行った方がいい物:変圧器、スイッチタップ(日本の電化製品とか、パソコンなどを使いたい場合)

## 進路について

1) 進路 <input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など 進学したい大学のホームページなど
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。 進学したい学校のホームページで募集要件を確認して、早めに準備をした方がいい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

## 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計 120単位	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 <input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語): Sex Gender and Kinship	履修した授業科目名(日本語): 性、性別と親族
科目設置学部・研究科	人文科学部 社会科学科
履修期間	1学期
単位数	20
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に講義(120分)とチュートリアル60分がそれぞれ1回
担当教授	Dr. Michelle Obeid
授業内容	所属する分野は文化人類学である。主要な内容は親族に関する多くの説、その説の年代学、民族誌などである。
試験・課題など	33%は2,000字のエッセー(5つから1つのテーマを選ぶ) 67%は2時間の持ち込み不可の期末試験(2時間の間、2編のエッセーを書く)
感想を自由記入	読まなければならない文献と読んだ方がいい参考文献が多すぎて、かなり難しい。

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>		<b>履修した授業科目名(日本語):</b>	
Introduction to Business Anthropology: Consumers, Companies and Culture		商業人類学:消費者、商社と文化	
<b>科目設置学部・研究科</b>	人文科学部 社会科学科		
<b>履修期間</b>	1学期		
<b>単位数</b>	20		
<b>本学での単位認定状況</b>	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
<b>授業形態</b>	講義とチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
<b>授業時間数</b>	1週間に講義(120分)とチュートリアル60分がそれぞれ1回		
<b>担当教授</b>	Prof. Maia GreenとDr. Katherine Smith		
<b>授業内容</b>	人類学の視点から消費者と商社、文化と商品のデザインの関係を分析する。		
<b>試験・課題など</b>	15%は800字のレポート(ある売店を観察して、観察結果と感想を書く) 15%は4つの200字のチュートリアル問題(毎週異なるテーマについて) 70%は2時間の持ち込み不可の期末試験 (1部分:5つの問題すべてを記入;2部分:9つのテーマから一つを選んで、エッセーを作成する)		
<b>感想を自由記入</b>	とても面白い科目である。先生も優しい。		

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>		<b>履修した授業科目名(日本語):</b>	
Fundamentals of Management		管理の基礎	
<b>科目設置学部・研究科</b>	マンチェスター商学部		
<b>履修期間</b>	1学期		
<b>単位数</b>	10		
<b>本学での単位認定状況</b>	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
<b>授業形態</b>	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
<b>授業時間数</b>	1週間に講義120分が1回		
<b>担当教授</b>	Prof. Helge Hoel		
<b>授業内容</b>	管理の関する基本的な知識。例えば、管理システムの構造、管理体系の歴史、人事管理など。		
<b>試験・課題など</b>	10%は中間試験 (30分間60問の選択問題、インターネットで) 90%は1.5時間の持ち込み不可の期末試験 (1部分:30分間55問の選択問題;2部分:5つから3つの問題を記入する;3部分:3つから1つのテーマを選んで、エッセーを作成する)		
<b>感想を自由記入</b>	中間試験の選択問題は自分で行った。持ち込み可だが、時間が足りなかった。見たところは簡単そうだが、実は評価基準がとても厳しいので、いい成績を取るのは難しい。		

<b>履修した授業科目名(留学先大学言語):</b>		<b>履修した授業科目名(日本語):</b>	
Strategy, Organisation and Competiton		戦略、組織と競争	
<b>科目設置学部・研究科</b>	マンチェスター商学部		
<b>履修期間</b>	1学期		
<b>単位数</b>	10		
<b>本学での単位認定状況</b>	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
<b>授業形態</b>	講義とゼミナール(チュートリアル, 講義形式等)		
<b>授業時間数</b>	1週間に講義(60分)とゼミナール60分がそれぞれ1回		
<b>担当教授</b>	Jonathan Aylen		
<b>授業内容</b>	組織の合併や拡張等の行動を通じて、商社の市場戦略を学ぶ。批判的な思考力が必要。		
<b>試験・課題など</b>	30%はグループ発表とレポート(レポートは発表の内容に関する) 70%は1.5時間の持ち込み不可の期末試験 (2編のエッセーを作成する)		
<b>感想を自由記入</b>	先生が厳しい。批判的な思考力が求められる。これが無ければ、レポートとエッセーの点数はかなり低い。		

履修した授業科目名(大学言語):		履修留学先の授業科目名(日本語):
Political and Economic Anthropology		政治と経済人類学
科目設置学部・研究科	人文科学部 社会科学科	
履修期間	2学期	
単位数	20	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義とチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に講義(120分)とチュートリアル60分がそれぞれ1回	
担当教授	Dr. Gillian Evans	
授業内容	所属分野は文化人類学である。資本主義や社会主義等の社会体制を人類学の視点から分析し、それぞれの政治、経済と文化を学ぶ。	
試験・課題など	20%はチュートリアル問題 (毎週1編の読書ノートを書く) 80%は4,000字のエッセー	
感想を自由記入	エッセーの評価基準が厳しい。いい点数を取るのはかなり難しい。授業が面白い。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Work, Economy and Society		仕事、経済と社会
科目設置学部・研究科	人文科学部 社会科学科	
履修期間	2学期	
単位数	20	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義とチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に講義(120分)とチュートリアル60分がそれぞれ1回	
担当教授	Kevin Gillan	
授業内容	仕事、経済、社会、それぞれの具体的な意味や、異なる社会体の影響で、それぞれの社会の政治、文化、経済と仕事の関係を学ぶ。	
試験・課題など	50%は2,000字のエッセー 50%は2時間の持ち込み不可の期末試験 (5つのテーマから2つを選んで、2編のエッセーを作成する)	
感想を自由記入	毎週チュートリアルの時、チュートリアル問題を提出しなければならない。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Political Theory		政治論
科目設置学部・研究科	人文科学部 社会科学科	
履修期間	2学期	
単位数	20	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義とチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に講義(60分)とチュートリアル60分がそれぞれ2回と1回	
担当教授	Thomas Porter	
授業内容	世界中主な政治家と哲學家の政治(哲学)理論を学ぶ。	
試験・課題など	10%はチュートリアルの参加 40%は1,500字のエッセー 50%は2時間の持ち込み不可の期末試験 (2編のエッセーを作成する)	
感想を自由記入	非常に難しい。哲學家と彼らの論理が暗記しなければならない。参考文献を読む時間も長い、チュートリアルで弁論しなければならない。	

## 留学に関するタイムチャート

留学までの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。  
 (形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

2011年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	英語の勉強。
10月～12月	IELTS 試験を受けた。留学の申請と面接など。
2012年 1月～3月	書類の準備。
4月～7月	ビザの申請。大学の宿舍の申請。
8月～9月	出発の準備、航空券を買う。